

令和2年度第1回田原本町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会 議事要旨

開催日時 令和2年11月11日 11時～11時50分

場 所 田原本町役場3階 301・302会議室

出席者 田原本町議会議長 竹邑 利文
田原本町議会総務文教委員会委員長 梶木 裕文
国立大学法人奈良教育大学教育学部教授 根田 克彦
奈良県立大学地域創造学部教授 小松原 尚
田原本町商工会会長 山田 至完
一般社団法人田原本まちづくり観光振興機構理事 服部 誠
田原本町地域婦人団体連絡協議会会長 山岡 佐規子
田原本町PTA連合会会長 平井 祐美子
株式会社南都銀行田原本支店支店長 秋山 利元
奈良中央信用金庫専務理事 谷野 守弘
田原本町立田原本小学校校長 植嶋 茂司
奈良県産業振興総合センター所長 大西 勇
社会福祉法人田原本町社会福祉協議会事務局長 鍬田 芳嗣

事務局 教育長 副町長 町長公室長 総務部長 住民福祉部長 産業建設部長
上下水道部長 教育部長 町長公室参事 産業建設部参事（田淵・村上）
企画財政課長 企画財政課長補佐 企画財政課政策企画係長

1. 開会

（事務局）

令和2年度第1回田原本町まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会は、出席委員は12人（1人遅刻）で、委員総数の過半数の出席により本委員会規則第5条第2項の規定により委員会成立。

2. 委員紹介

（事務局）

令和2年度に新たに推進委員になられた方を紹介。

3. 議事

(小松原委員長) 委員長挨拶

議案第1号、「地方創生推進交付金事業の効果検証について」、事務局から説明を求める。

(事務局)

資料3：2019年度に地方創生推進交付金を活用して実施した3事業の効果検証について説明。

- ・「道の駅・史跡公園を核とした町の魅力発見事業」
- ・「地域の歴史文化資源を活用したインバウンド推進事業」
- ・「地域資源を活かした女性向け田原本ブランド化促進事業」

資料4：2020年度に新たに交付金活用事業として採択された2事業の概要について説明。

- ・「地域価値を高める支援を行う持続可能な組織設立プロジェクト」
- ・「飛び地型自治体連携による若者から90歳代の後期高齢者の全てが生きがいを持って過ごせるための健幸まちづくり事業」

(山岡委員)

資料4、健幸ポイント事業について、KPI、80歳から90歳の参加者数の300及び令和2年度の目標値800の単位の確認、人数を指しているのか。

(住民福祉部長)

単位は人、人数である。当事業は、4市町と連携して取り組んでおり、数値は4市町の合計人数である。基準値は、既に当事業を実施している市町（大阪府高石市、鳥取県湯梨浜町）もあるので、基準開始前時点の数値が300となっている。

(山岡委員)

目標値のうち、内訳で田原本町の数値はどのようになっているか。

(住民福祉部長)

田原本町は今年度目標値として500人を予定しており、その内、15%の75人を80歳以上の方に参加をしていただこうと考えている。

(山岡委員)

今年度実績はどれくらいか。

(産業建設部長)

今現在68名の80歳以上の方が参加されており、今後も周知等をしていく。

(根田委員)

資料3、道の駅・史跡公園を核とした町の魅力発見事業のKPI、イチジクの新たな作付面積について、目標5反に対し、実績0.5反、昨年度から変わらずであるが、これまでどのような対策をとられてきたか。

(産業建設部参事(村上))

イチジクを栽培して頂けるような農家には声かけはしているが、様々な手間や苦勞があるようで、増加には至っていない状況である。

一方で、古都華というイチゴを栽培していただくよう町としても考えており、町のブランド作物として栽培を拡大していく目標も持っている。

(根田委員)

目標は設定したら検証していく必要があるかもしれないが、できることできないこともあると思うので、変更や見込みがない等整理してみてもいいのではないか。

(山岡委員)

資料3、地域資源を活かした女性向け田原本ブランド化促進事業について、女性向けとなっているが、何が女性向けになっているのか。女性を中心とした感じが見受けられないように思う、説明を求める。

(産業建設部参事(村上))

女性向けと設定したのは唐古・鍵遺跡、道の駅が平成30年4月にオープンし、ターゲットを女性だけではないがお母さんに来てもらい、お子さんお父さんとファミリー層が必然的に来てもらい田原本の活性化にも繋げる発想でプランニングをした。

イルミネーションにおいても女性に好かれるようなデザインにすることによって女性だけでなく子供や家族にも来ていただける設定をした。

(山岡委員)

コンセプトは分かるが、具体的に4つの事業が該当しているのか疑問がある。

(小松原委員長)

女性向けは大事だと思う。男女において消費性向が違い、中でも女性の消費性向に合致した戦略という意図で計画を立てられたのではと受け止めている。

(山岡委員)

例えば道の駅で女性をターゲットした賑わい創出事業において、女性を対象としたバッグやアクセサリなど置いてあるなどあれば、女性向けと分かるが、当事業のイベントでは何かされたのか。

(服部委員)

今話題になっている天外者の映画の主人公の妻が田原本出身であり、この前、唐古鍵遺跡のイベントでも女優が登壇し女性の活躍が見込まれるようなことも語っており、こういう考えも念頭にあったのではと思う。

(産業建設部参事 (村上))

道の駅での賑わい創出事業について、昨年11月にTHE WAY CARNIVALというイベントを特にファミリー層をターゲットに、唐古鍵遺跡史跡公園で実施した。他の自治体の道の駅にも出ていただいて、お財布を握っているお母さんであり、そこをターゲットに商品を並べていただくそういったことを意識した。今後、より目標達成のために意識してやっていきたい。服部委員の話のとおり、田原本町にはいろんな地域の資源があって五代友厚さんの奥さんの豊子さんが生まれ育った場所ということもあり、女性の活躍にも焦点を当てながらそのブランドがイメージアップにもつなげていきたいと思う。

(服部委員)

お母さん方が伝統文化を次世代に伝える会で能を教えてもらい、発表したり、防災フェスティバルでもお母さんが手伝って頂いたり、女性の方が活躍しやすいようなまちづくりを後押ししていくべき。

(小松原委員長)

議案第2号、「総合戦略の進捗状況について」、事務局から説明を求める。

(事務局)

資料5：田原本町まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について説明。

総合戦略で掲げている各施策のKPIの実績や今後の取組方針を示している。今回新たに、進捗度合いをS～Dの5段階評価で可視化した項目を設けたので参考にさせていただきたい。

(竹邑委員)

現時点では昼間人口はどれくらいか。

(企画財政課長)

奈良県においては昼夜間の比率で1.0を超えているのは天理市だけである。田原本町は0.8985であり、人数は把握していない。

(小松原委員長)

議案1号、2号ともに承認ということによろしいか。

(各委員)

異議なし、承認。

4. その他

(小松原委員長)

その他「次期まち・ひと・しごと創生総合戦略及び第4次総合計画後期基本計画策定に係る委員会スケジュール」について、事務局からの説明を求める。

(事務局)

資料6について、次期計画の策定までのスケジュール及び策定に伴う当委員会の開催日程、テーマを説明。

(小松原委員長)

これですべて終了いたしました。今後、次期計画策定に伴う委員会が開催されるので、皆さまのお力添えをよろしくお願いする。

5. 閉会